

令和6年度 全国学力調査【国語】分析結果

【全体】

本校の平均正答率は全国平均を大きく上回った。

【条件作文】

本校の平均正答率は全国平均を上回っていた。次のような課題が挙げられる。

- 必要な情報が文章、または、グラフから読み取ること
- 問題文の条件の把握と理解
- 文章を読んで、要旨を捉えること
- 文章と文章のつながりや、文章のまとめ方を工夫すること
- 内容と文字数を踏まえた推敲力
- 長文の読解の際、主語と述語の関係を捉えること

【情報の読み取り】

本校の平均正答率は全国平均を上回っていた。次のような課題が挙げられる。

- 問題の意味を正しく理解してから取り組むこと
- 必要な情報を文章から読み取ること
- 読み取った情報を基に、原因と結果を結び付けること

【漢字の習熟度】

本校の平均正答率は全国平均を大きく上回った。しかし、正答率自体が低かったため、次のような課題が挙げられる。

- 同音異義語（同音異字）を漢字で表す場合に判断が難しい
- 文脈に沿った漢字の使い方

上の課題から、以下の改善策を意識して取り組む。

【改善策】

- 説明文の授業において、段落や全文の要旨をまとめる活動を行う。
 - ・ 筆者の主張（考え）を必ず押さえる。
 - ・ 段落ごとや構成ごと（初め、中、終わり）で要旨を捉える練習をする。
 - ・ 要旨を踏まえて、自分の考えを書く活動を入れる。
 - ・ 条件付き（文字数・内容）で作文を書く練習を入れる。など
- 週末の課題で、「条件付き作文」を取り入れる。
- 漢字の意味まで確認して学習を行う。（辞書を引く、タブレットで調べるなど）
- 漢字や主語述語を意識した文章を書く活動を取り入れる。
- 時間制限を設けて、文章を書く練習や問題を解く活動を取り入れる。
 - 時間を意識することや、効率的な問題の解き方を意識させる。